

*



かどや通信

第45号

発行日：令和3年7月吉日
発行：かどや保存会
発行責任者：寺田 直喜／編集：廣野 克子

努力のたまもの！ 点描画と川柳の成果を展示

かどやでは毎月、地元の人たちの交流の場として様々な分野の教室を開いている。毎回「ツツと修行」に励む皆さんの成果を見ていただく。六月には点描画教室、七月には川柳教室の作品展が行われた。

《格段の進歩に先生ビックリ》

六月には、点描画教室の作品展が開かれた。かどや教室の五人の作品十一点に加えて、伊勢教室の六人と講師の豊田育子さんの作品も多数展示された。見学者は、宇宙を連想させるとも言われている点描曼荼羅アートの世界に目を奪われていた。

この教室は昨年九月から始まったが、そもそもは同年六月に講師の豊田さんの作品展がかどやで開催され、展示期間中に体験教室を実施した



ところ、「もこと続けたい」という参加者のリクエストに応じて開講

された。参加者は五人だが、年齢層は八十歳代から小学五年生までと幅広い。

点描画には様々な種類があるが、同教室で描くのは点描曼荼羅アートと呼ばれるもので、黒い台紙に曼荼羅模様を描き専用のゲルボールペンを使って、無数の点を書いて色付けしていく。下絵となる曼荼羅模様はコンパスと定規で書くが、これが初心者には至難の業。八十歳代の生徒さんは当初「難しいー頭がぐちゃぐちゃになる」と線を引きながら弱音を吐いていたが、テキパキとした豊田さんの指導のもとで、「ツツと努力を重ねた結果、「短期間での皆さんの上達ぶりには目を見張ります」と豊田さんを驚かせていた。

五人の作品は十か月足らずとは思えない素晴らしい出来栄であったが、伊勢教室の先輩の作品を見た一人は「一点の打ち方が力強く素晴らしい。私たちも頑張らねば」と、向上心を掻き立てられていた。

《句集発行を記念し作品展》

「ときめき川柳の会」の作品展が七月七日から二十五日まで開かれた。同会の五冊目となる句集「海鳴



り」の発行は前号で紹介したが、その作品をより多くの人に知ってもらおうと、句集から抜粋した作品を短冊や色紙に書いて展示した。会員十五人は三句ずつ、講師の齋藤たみ子さんの作品は二十一句紹介されている。

川柳といえば「サリリーマン川柳」のようにユーモアのある風刺的なものをイメージされる方もおられるだろうが、「ときめき川柳の会」では、日々の生活の中から紡ぎだす心の機微を詠んでいる。先生の作品はもちろんだが、生徒さんの句も心に響く句が並んでおり、お気に入りの句を暗唱して帰る見学者もいた。

今回の飾りつけは、句集制作でも活躍した実行委員さんを中心に八人が担当。一ヶ月も前から、たびたび下見をして配置等を緻密に検討していた。先生の作品は当初、十句の予定だったが、心にしみるものはかりで、結局二十二句に増えていた。



飾りつけに汗を流す実行委員さんたち

動画撮影顛末記 茶道収録でてんやわんや

鳥羽市観光協会では、「コロナ終息後を見据えて、日本を訪れる外国人観光客（今回は、特にアジア人）向けに鳥羽の魅力を紹介する動画を制作中だ。五月十九日には、かどやで茶道を体験する撮影が行われた。一人旅で鳥羽にやって来た外国の青年が釣りやカヤック、トレッキング等の体験や食事を通して、鳥羽を満喫する」という設定だ。



使われなかった立礼棚

お茶をたてる立礼棚（りゅうれいだな）をわざわざ準備して、撮影隊の到着を待った。茶道教室で

撮影当日は、かどやで毎月行っている「簡単茶道教室」の稽古場で、千草先生をはじめ助手のゆかちゃん（生徒六名が勢揃いしていた。着物姿の千草先生が、旅行者にお点前を披露するという段取りで、撮影は教室の稽古の前に行うことになっていた。普段は畳に座ってお点前の練習をするが、外国人に正座は辛いだろうと、関係者と相談のうえ、椅子に座って

は毎回、千草先生が自宅から茶道具一式を持参してくれるが、立礼の場合は机や椅子など道具も多く組み立てるのも大仕事だ。それでも、教室のメンバーは日本文化PRのためにと普段より早めに集まり、準備に奔走してくれた。ところが、プロの撮影隊が到着すると、あくまでも普段通りの作法を撮りたいとのこと。生徒さんたちは一瞬「ええっ！」とのけぞったが、結局いつもの道具を千草家に取りに行き、ようやく撮影が始まった。収録は三十分程度と聞いていたが、プロに妥協はなく、丁寧に様々なカットを撮影したため、予定時間を大幅に超えてしまった。その結果、教室の練習時間は大幅に削られてしまったが、「普段のお稽古では見ることができない先生のお点前を見る」とができて、勉強になりました」と歓迎する声も多かった。

動画に出演したスリランカ人の留学生 サンドルさんにとって茶道は初めての体験。



しかも、面倒見の良い千草先生は撮影終了後に、お茶の点て方まで指南。サンドルさんは「この体験は、これからの学生生活にも生かせる」と大感激だったとのこと。食に關しても、鳥羽の海鮮の豊富さに大満足したそう

動画は現在編集中で、公開されるのは九月初旬頃とのこと。今回、かどやの撮影だけでも二時間以上かかり、予定外の茶道教室の模様も丁寧に撮影していたが、鳥羽市の多彩な魅力を紹介する動画の中で、今回の茶道体験が何分間放映されるのだろうか。公開まで期待と不安が交差する。

鳥羽小六年生なかまちに学ぶ！

鳥羽小学校の6年生二十五人が七月九日の午前中、なかまちにやって来た。同校では「こぼっず学習」と称して、鳥羽の良さを知ること、地元を愛し、次世代を担う人づくりを目指す授業を行っている。今回は、町づくりの注目を集めてい



る合同会社なかまちの活動と魅力を調査しに来たのだ。

当日は、同代表の濱口和美さんに活動内容等を説明してもらった後、4班に分かれてなかまち会の加盟店舗や西念寺を訪問した。生徒たちは後日の発表に向けて調査シートを持参して町づくりの課題や現状等について各店舗でインタビューし、写真も撮っていた。

最後に、全員がかどやに集合して館内を見学したが、3年生の時にも「昔の暮らし」を学ぶためかどやに来ており、「冷蔵庫、前にも見た等、懐かしそうに探索していた。「歴史が好きなので」と熱心に質問する生徒や、昔の電話に興味を示したり、オルガンで校歌を弾いて合唱するグループもあり、楽し気に過ごしていた。その日の夕方には、「春夏秋冬、教室をひらいているのをきいて、またいきたいと思いました」等、冷蔵庫の絵とお礼の言葉や感想が綴られた絵手紙が届けられた。



玄関でかどやの概要を聞く生徒たち

かどやは、「人と情報の交流拠点」として、特技や趣味を磨き、楽しい時間を過ごしていただけるよう様々な教室を準備しています。あなたも参加してみませんか。

かどやで学ぼう！

教室一覧表

【一般】

教室名	とき	参加費	講師(敬称略)	備考
簡単茶道	第3水曜日 13:30～15:00	1,000円	千草 石子	かどや公開当初からの老舗教室。石子先生が丁寧に指導
絵手紙教室	第1月曜日		鳥羽絵手紙 同好会	下手がいいがキャッチフレーズ。自由に描いていただきます
手芸倶楽部	第2土曜日 ①10:00～12:30 ②13:00～15:30	2,200円	大屋 美枝	古布を使った吊るし飾り作りでスタート。今は生徒さんの希望に沿った作品を制作。
めぐ倶楽部	月1回 曜日は流動的 13:00～15:00	1,500円	菌田 めぐみ	羊毛フェルト：羊毛を特殊な針でつつき繊維を絡めて動物など様々な作品を作ります。
みるふい倶楽部	第3木曜日 12:30～15:30	1,700円	丸井 靖子	シャドーボックス：平面の絵や写真を重ね、その陰影で立体感を出すアート作品を作ります。
点描画教室	第3土曜日 13:30～15:00	1,000円 学割あり	豊田 育子	基礎から応用まで幅広く学べます。
キラキラ倶楽部	月1回 曜日は流動的 13:00～15:00	1,500円 材料費別	中谷 幸美	スワロフスキーを使って、あなた好みのアクセサリを作ります。
みそら塾	第4木曜日 13:30～15:30	2,000円 材料費別	マチノヤヨイ	一閑張りの制作を基礎から学びます。
お針子倶楽部	コロナで休講中		澤村 直子	和服の古布を使った洋服作り
調理倶楽部	コロナで休講中		長橋 美保	簡単でおいしいお菓子作り

【文化・文芸】

野の花と 万葉の会	第4日曜日 13:30～15:00	1,000円	橋本 佳代	万葉集の中でも特に野の花を詠った歌をとり上げ、込められた意味や時代背景等を学びます。テーマの野の花を使った活け花も鑑賞していただきます。
まゆみ塾	隔月、主に第4土曜日 13:30～15:00	3,500円 材料費込	まゆみ	テーブルコーディネートを学びます。まゆみさんのセンスが光るおしゃれな教室です。

【音楽】

小唄教室	第1 & 3木曜日 12時～	4,000円	栄紀衛	1時間の個人レッスン
オカリナ教室	第2 & 4木曜入門 第2 & 4土曜日 10:00～11:30	3,300円	加藤 貴彦	グループ・レッスン

最新ななかつ情報

鳥羽三丁目から四丁目界隈は、昭和中期までは「鳥羽の台所」と呼ばれ、個人商店が軒を連ねて活況を呈していた。鳥羽ななかつ会は、当時の賑わいを取り戻そうと地元のお店等が協力して地域活性化に取り組んでいる。

《金胎寺で茅の輪くぐり》

金胎寺(鳥羽三丁目)は、戦国武将で初代鳥羽藩主の九鬼嘉隆をはじめ、鳥羽城主代々の祈願寺として栄えてきた。残念ながら平成七年に大火で本堂が焼失するという不幸に見舞われたが、四年前に長谷住職が着任し、奉賛会の方々と共に、寺の復興と地域の活性化に向けて、様々な行事を企画してきた。

その一環で、六月三十日に行われる「夏越の祓(なごしはらえ)」に茅の輪くぐりを実施して人気を呼んでいる。夏越の祓とは、一年の前半を無事に過ごせたことに感謝し、半年間に生じた罪や穢れを祓つもので、茅チカヤイネ科の雑草で作られた輪をくぐることで更に穢れを祓つことになるが、同寺では気を浄化し抗菌作用も強いといわれている古代マコモが織り込まれている。住職と親交のある奄美大島在住の方が奉納されたもので、「新型」コロナが早く収束しますように」と祈りながらくぐった参拝者もいたようだ。

新助っ人参上!

地域おこし協力隊の第二期メンバー三人が七月一日に着任。ななかつ担当の二人に抱負をうかがった。

《新しい風を吹かせたい!》

おおひななかつ
大日方一皓さん(東京都出身)

風間も人が歩いていないのには驚きました。町と海の近さは他にはない魅力です。港町ならではの風情と人の温かさに惹かれましたし、何かが動き出しそうなワクワク感も感じます。昭和の香りを残す町並みと令和の新風を上手く交えて、若者が来たいと思いを、来てみると何だか落ち着くし、楽しそうという期待を持ってもらえような、心地良い風を吹かせていきたいです。

《ななかつの良さを発信!》

くさかきょうた
日下耀太さん(奈良市出身)

釣りが趣味ですので、鳥羽市の魅力を発信するオンラインコミュニティ「とぼり隊」に、早速「釣りの部」を発足させました。釣りのみならず海や釣り場の清掃活動もボランティアで行っています。コロナが落ち着いたらツアーなども企画したいですし、空き家問題の解決にも取り組みたい。様々な活動を通して、ななかつの良さを発信していきます。

◆◆貸部屋の案内◆◆

かどやを有効にご活用いただくため、一部の部屋を貸部屋として貸し出しています。茶話会や勉強会、展示会などにご活用ください。

詳細は、かどやへ。

電話〇五九九―二五八六八六

時間区分 部屋	午前	午後	全日	冷暖房設備 利用料
	10時~12時	13時~16時	10時~16時	
座敷南(10畳)	500円	600円	1,100円	500円
座敷北(8畳)	400円	500円	900円	—
仏間(6畳)	300円	400円	700円	—

- ・営利目的の場合は、料金表の10割増しとなります。
- ・鳥羽市民または市内勤務者以外の利用は、料金表の5割増しとなります。
- ・許可された利用時間を超過する場合は、割増料金が発生します。
- ・冷暖房費は、全日使用の場合は2倍になります。

かどや保存会 令和3年度会員募集開始!

かどや保存会は、歴史的文化財である「鳥羽大庄屋かどや」の保存ならびに効果的な活用・運営をめざして活動を続けており、当会を支援して下さる会員を募集しています。

ピーク時の平成30年度は会員数351名でしたが、残念ながら以後毎年減少しております。しかし、コロナ禍にも関わらず、令和3年度は7月15日現在約240名の方から継続のお申込みをいただきました。皆様からのご支援、心より感謝いたします。コロナの収束にはまだ時間がかかるものと思われそうですが、感染防止対策を強化しつつ、皆様の憩いの場所となるよう、これからも日々努力を重ねてまいります。手続きがまだの方も引き続きご支援いただきますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

令和3年度(令和3年4月1日~令和4年3月31日)の年会費(1口2,000円)は、継続・新規を問わず、以下の方法で納入してください。

(1)手渡し: かどやにお越しいただき、直接事務局にお支払いいただく。

(2)銀行振込: 郵便局 普通 かどや保存会 00850-4-151751